

INFORMATION

プラネタリウム

COMETS IN HISTORY

宇宙の放浪者、彗星と人類のかかわりを、世界の歴史に見ていきます。番組の中では今夜の星空解説もあります。

4月13日(土)→6月23日(日)

平日	18:00
夏休み平日	11:30 14:30 18:00
土曜	11:30 14:30 17:30
日・祝日	11:30 14:30

MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

土曜の夜だけの特別プログラム。最新鋭プラネタリウムによる満天の星空と心地良いサウンド、そして宇宙の話題が織りなすファンタジックなひとときをお楽しみください。

土曜	19:00
	4月6・13・27日
	5月11・18日
	6月1・8・15・29日

全天周映画

ナイアガラ

アメリカのナイアガラの滝の大自然と、開拓者たちの挑戦を、ダイナミックな映像で体感してください。

4月2日(火)→7月18日(木)

平日	16:30 (金曜のみ19:30も上映)
夏休み平日	10:00 13:00 16:00 19:30
土・日・祝	10:00 13:00 16:00

■料金 (入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児50円

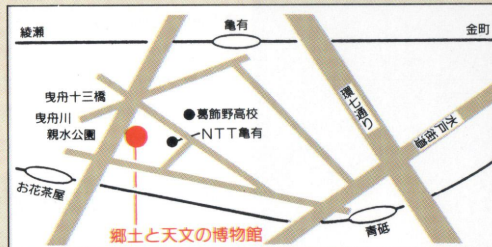
■休館日

月曜日(祝日は開館) / 第2・4火曜日
4月10日(水)~12日(金)のプラネタリウム・全天周映画は番組入替のため休演。

■上映15分前までにご来館ください。

交通のご案内

- 京成線 [お花茶屋] から8分
- JR常磐線 [亀有] から25分
- 京成バス (新小53 亀有-新小岩) [博物館前] 下車すぐ
- 駐車場に限りがございます。電車・バスをご利用ください。



葛飾区



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101

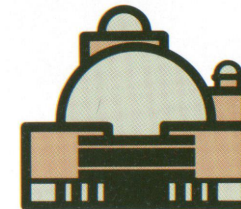


PLANETARIUM

COMETS IN HISTORY

人々が見た彗星の歴史

Vol. 20 1996・春-夏



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

1996年・春の星空より

北の空に、2匹の熊が春を呼ぶ

おおぐま座

北斗七星

北極星

こぐま座

■北斗七星は北の空に春を告げる

桜が風に舞うころ、6個の2等星と1個の3等星からなる北斗七星が、空高く見られるようになります。この北斗七星から北極星を探すことができます。まずひしゃくの形をした北斗七星の、ますの部分の先端の2つの星を結びます。2星を結んだ線を、ますのふたの開いている方へそのまま5倍ほど延ばしていくと、その先に北極星が見つかるはず。北極星の真下が丁度真北の方角になります。空のどこに北斗七星が見えていても、必ず北極星が見つかります。実際の空で確かめてみてください。

■小さな熊と、大きな熊

北極星のあたりをよく見ると、小さなひしゃくの形に星が並んでいるのに気づきます。これは小北斗と言い、こぐま座にあたります。一方北斗七星はおおぐま座の一部になっています。おおぐま座は精女カリストが失態をした罰として姿を変えられてしまっているのです。そのカリストの息子アルカスが、大熊を母親とは知らず弓で射止めようとした時、大神ゼウスが旋風を起こし、2人を星座にしてみましたという悲しい神話が残されています。小さな熊はカリストの姿です。今も夜空でカリストは、アルカスの周りを泣きながらぐるぐると回っているように見えるのです。

人々が見た彗星の歴史

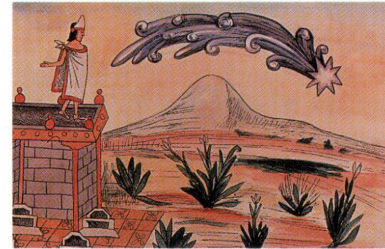
■歴史に焼きついた彗星の姿



ノルマン人のイギリス進攻を記念して描かれた壁掛けの彗星の絵

彗星ほど人々に思わせぶりな天体はありません。昔は多くの国々で、何か不吉なことを知らせる星と見られていました。例えば左の絵は、1066年のハレー彗星を記した壁掛けの絵です。英国ハロルド王の城の上に現れた彗星を見て、市民が噂をしている様子が描かれています。この彗星の出現は国王が戦争で命を落とすことを予言していると、当時考えられていたようです。世界じゅうに、彗星に対する時代時代の考え方を象徴するような記録が残されているのです。

■アステカの王と彗星の出現



16世紀のメキシコの地を治めていたアステカ王国は、彗星の出現によって伝説の神の再来を確信しました。神に国を引き渡さなくてはならないと告げられていたのです。

そこへ偶然スペインの侵略者コルテスが現れたため、アステカの人々はコルテスの訪れを神の再来と信じてしまいました。そのためアステカは比較的短い間に、スペインの侵略を完全に受けてしまったのです。

このように彗星が歴史の流れに不気味に影響したことは、他にもたくさんあるのかもしれませんが。

■これからも現れる彗星



彗星は毎年たくさん見えているのですが、私たちが肉眼で見えるような明るいものは、10年に1個程度しか現れません。でも一生のうち何度かは見ることはできるはず。この3月に20年ぶりの1等級の明るさの百武彗星が北の空に見えました。また97年春にも、ヘール・ボップ彗星が肉眼で見える明るさになると、現在期待されています。みなさんもぜひその美しい姿を眺めてみてください。なお来年1月からのプラネタリアム冬番組では、人類が彗星の姿を解き明してきた歴史を紹介する番組を放映する予定です。こちらどうぞお楽しみに。

COMETS IN HISTORY ナレーション

さくらば ゆうじ
桜庭 裕士

NHK海外ドキュメンタリーシリーズ、NTVビートたけしのお笑いウルトラクイズほか、多数のTV番組/CM/CFのナレーション、ラジオのパーソナリティとして活躍中。

